

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピースマイル西大島店				公表日	令和8年3月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	国の基準である『24.7㎡』に対して、『300㎡』という広いスペースと『200㎡』の外庭があります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	加配人員と専門の人員も配置した手厚い療育を心がけております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	壁の高さ・色・クールダウンスペース・など療育をメインとした環境づくりを1から行った事業所です		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	各部屋の広さは活動内容に合わせた広さの空間となり、消毒・掃除等徹底しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンスペースの確保を完備しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	月に数回の活動に対するミーティングや子ども達に対する話し合いのミーティングを実施しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	今回の自己評価表や保護会などで挙げた内容はスタッフで共有し、可能な範囲で、理念を念頭に変更可能な点は変更しております		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	上記ミーティングの他に、リーダーミーティング・所長ミーティング・本部ミーティングを完備し、職員の意見を吸い上げ改善を行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	県内外の事業所・行政の方々の見学を受け入れ、有難いお言葉を多々頂いております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	新人・中堅者・管理者研修を完備し、更に定期的な試験を実施し、常に療育のスキルアップを心がけた事業所です		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HUGシステムを利用して、プログラムの掲載を行っております。また、プログラムには全て目標・内容・方法など統一されております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	セラピストを中心に、事前に保護者様から頂いたご希望を元に、多職種で連携し、目標の設定・把握・実行といったPDCAサイクルを常に回して作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	セラピストを中心に、事前に保護者様から頂いたご希望を元に、多職種で連携し、目標の設定・把握・実行といったPDCAサイクルを常に回して作成しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	セラピストを中心に、事前に保護者様から頂いたご希望を元に、多職種で連携し、目標の設定・把握・実行といったPDCAサイクルを常に回して作成しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	事業所独自でセラピスト13人でPDCAサイクルを回しつつ、作成し評価表を軸に行っております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドライン記載の内容を踏まえつつ、書類のみではない、本来その子に必要な事をしっかりと絞り、本来の一人一人に必要な具体的な関わり・声掛け・環境調整を常に心がけております。		

文 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ミーティングで活動メニューの共有・意見交換を実施しております	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	国に定められた5領域を意識しつつも、子ども達が楽しみながら学べる活動を選定しております。活動内容は何百種類とあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別的な療育・集団的な療育を行いつつ、意見交換を踏まえ、一人一人に合わせたチーム療育を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日ミーティングでその日の着目点・変化点などを共有してから療育を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後は記録・送迎・掃除等で定時のため、スタッフの負担を考慮し、意見交換は翌日に行います。また月に何度かのミーティングでじっくり話し合う機会を作っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	HUGシステムを利用して、行っております	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	月に数回の活動に対するミーティングや子ども達に対する話し合いのミーティングを実施しております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	基本的には児発管・または管理者が対応し、情報交換をしっかりと行っております。相談支援事業所以外の地域とも行っております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	子ども部会を発足し、自立支援協議会への参加などを行い、地域との交流からより良い地域作りも行っております。	周知徹底をしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	常に周辺の園・学校・学童とは連携を図り、情報交換を実施しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	園とは常に連携を図り、情報交換を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	当事業所が子ども部会の部会長として周辺地域との架け橋を行っております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	他施設と一緒にお祭りを開催しております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	HUGを通じて丁寧な連絡、事業所での個別療育の見学会、定期的な保護者会を行っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	法人内のペアトレ指導士による相談・助言研修会を実施しております		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	事業所での規定や理念を基に関わり方などについては適宜ご質問の際にお答えをしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	ミーティング前に保護者様からの事前調査をさせて頂いております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	確認・承認を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	保護者会・事業所内相談を行っております。	保護者会への参加を様々なスタッフにも行ってもらえるように検討していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会を定期的に行っております。御兄弟に関しては面談で相談はお受けしておりますが、まずは兄弟支援ではなく、『実際に状況を把握できて関わって利用者様』に対してのアプローチを責任をもち、メインに行っております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談に関して、実際に事業所に来ていただく面談・TELによる対応を実施しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に何件かの、ブログでの現状報告・スタッフによるインスタでの療育豆知識を投稿しております。是非ご覧ください☆	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	徹底しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	見える化・図式化など必要に応じて工夫をしております	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	訪問駄菓子屋の企画を定期的実施し、地域の方も自由に参加できる仕組みとしております		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	書類上での共有と共に、実演練習を行い、緊急時の各自の役割・指示出し・物の準備を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	計画書を作成するとともに、必要な道具等備蓄をしております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	事前申し込みの際に確認をさせて頂き、書類にして全員が共有できる仕組みとしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	事前申し込みの際に確認をさせて頂き、書類にして全員が共有できる仕組みとしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	計画書を作成するとともに、必要な道具等備蓄をしております。	PDCAサイクルを常に行い、緊急時にしっかりと対応できるようにしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	マニュアルの共有と共に、すぐにつながる方法としてTEL・公式LINEを実施しました。	PDCAサイクルを常に行い、緊急時にしっかりと対応できるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットはしっかりと実施し、インシデント・アクシデントに繋がらないように工夫しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修を実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	あまり、対象となるお子様はおりませんが、必要に応じて実施しております。		